

法 検 2026 年度法学検定試験 団体受験のご案内

- 団体受験とは**…大学・企業等でまとめて受験することにより、受験料の割引や詳細な試験結果の提供する制度
- 団体申込資格**…大学や企業等、法学検定試験委員会が認めた団体
(初めてご検討される団体様は、お問い合わせください)
- 団体申込条件**…原則として受験者数 20 名以上の団体で、団体会場の設置が可能な団体
(20 名に満たない場合や団体会場の設置が困難な場合は、ご相談ください)

◆◇◆申込みフロー◆◇◆

仮申込み

法学検定公式ウェブサイトの「[団体受験申込フォーム](#)」より、**10 月 5 日(月)まで**に仮申込みに必要な事項（申込団体名、申込責任者、連絡担当者等）を入力・送信してください



受験申込み(本申込み)

10 月 19 日(月)必着で下記の必要書類をまとめて、書留、レターパック、宅配便など追跡のできる方法でお送りください

【必要書類】

- ・団体受験申込書（仮申込後にお送りする個別リンクからフォームに入力いただき、入力内容のコピーをプリントアウトしてご提出ください）
- ・団体会場実施誓約書
- ・受験者全員の願書
- ・受験者全員分の受験料（別紙「団体受験特典」を必ずご参照ください）
取扱書店等発行の「書店払込証書」
または
金融機関交付の「振込明細」
- ・試験会場地図および試験室レイアウト



受験票送付

受験者個人宛に 11 月 12 日(木)頃に発送いたします



試験資材到着

11 月 24 日(火)午前中予定でお届けします（なお、問題冊子は試験当日にお届けします）
お届け場所等は事前にご相談させていただきます



試験日：11 月 29 日(日)



試験資材回収

原則として試験当日に回収いたします
(当日差し支える場合は、翌日の回収も承ります)



合否通知・試験結果

受験者個人宛に 1 月 5 日(火)頃に発送いたします
団体宛には、セキュアデリバーにて合格者数等の件数表、団体別解答分析表、得点度数分布表等をお送りしております

【2026年法学検定試験 団体受験スケジュール】

団体受験実施の際に特にご留意をお願いしたい日程を一覧にいたしました。赤字部分の締め切りに関しましては、**団体実施責任者様にご連絡・ご対応をいただく必要のある日程**です。連絡手段等については変更(メール→フォームへの変更など)の可能性がありますが、試験日までの必要な段取りの把握のためにご利用ください。ご確認ください、ご不明な点等ございましたら事務局までお問い合わせください。

【 10月 】

10月	曜日	スケジュール	備考
1日	木		
2日	金		
3日	土		
4日	日		
5日	月	仮申込み〆切	団体受験申込フォーム(9月頃迄にHP上に用意します)からお申込みください。
6日	火		
7日	水		
8日	木		
9日	金		
10日	土		
11日	日		
12日	月		
13日	火		
14日	水		
15日	木		
16日	金		
17日	土		
18日	日		
19日	月	本申込み〆切 (事務局必着)	仮申込後に発行する個別リンクのフォームに必要事項をご追加入力いただくとともに、その入力内容のコピー、各受験者の願書・受験料振込明細等本申込みに 必要な書類一式* を郵送・宅配便などでお送りください。
20日	火		
21日	水		
22日	木		
23日	金		
24日	土		
25日	日		
26日	月		26~28日に「実施マニュアル」(郵送)、「当日連絡票」(メール添付)を発送予定
27日	火		
28日	水		
29日	木	「当日連絡票」〆切 (午前中)	試験当日の資材搬出入場所の指定および試験教室の確定のご確認をいただきメール添付にてお送りください
30日	金		
31日	土		

【 11月 】

11月	曜日	スケジュール	備考
1日	日		
2日	月		
3日	火		
4日	水		
5日	木		
6日	金		
7日	土		
8日	日		
9日	月		
10日	火		
11日	水		
12日	木	受験票発送日	受験票は受験者個人宛てにお送りします
13日	金		
14日	土		
15日	日		
16日	月		
17日	火		
18日	水		
19日	木		
20日	金		
21日	土		
22日	日		
23日	月		
24日	火	試験資材の受取り (午前中)	ご指定の場所に問題冊子以外の試験資材をお届けします
25日	水		
26日	木	「資材到着確認票」 の〆切(午前中)	お送りした資材をご確認いただき、確認票をメール添付にてお送りください
27日	金		
28日	土		
29日	日	法学検定試験 試験日	・当日朝、問題冊子を搬入します ・試験終了後、解答用紙・資材引取り ・試験終了後、実施報告書をメール添付にてお送りください(実施報告書原本は責学にて1年間保管ください)
30日	月		

* 必要書類

- ・団体受験申込書
- ・団体会場実施誓約書
- ・受験者全員の願書
- ・受験者全員分の受験料明細書
(取扱書店等発行の「書店払込証書」または金融機関交付の「振込明細」)
- ・試験会場地図・試験室レイアウト

● 可否通知・試験結果は受験者個人宛に2026年1月5日(月)に発送いたします。

団体宛には、合格者数等の件数表、団体別解答分析表、得点度数分布表等をお送りいたします。なお、解答状況表(受験者の得点等一覧)は、願書に団体への成績通知についての承諾がある受験者のもののみとなります。

法学検定試験委員会事務局

URL: <https://www.shojihomu.or.jp/hougaku/index>

MAIL: houken_since2000@jimu-kyoku.net

団体受験特典

団体受験割引

①全受験者の受験料の一括振込等申込み手続きのとりまとめ 10%

団体内で願書の受付および検定料の送金事務を一括して行っていただいた場合（送金方法は銀行振込）、その手数料分として検定料総額の約10%を割引させていただきます。

②試験会場設置および試験の実施・運営 10%

試験当日、試験会場の設置や試験の実施・運営をしていただく場合、会場費・試験監督および事務連絡費等の費用の一部にあてていただくために検定料総額の約10%を割引させていただきます。※学生は自校で受験できるので受験しやすくなります。

上記①、②いずれかにより

上記①と②両方で

10%割引 (検定料から約10%を割引します)

20%割引 (検定料から約20%を割引します)

さらに

*受験者数が100名以上の場合の特例

受験申込者が100名以上の団体様には、そのお礼として特別割引制度があります。団体割引後の受験料から、さらに5%の割引を行います。これにより上記①、②かつ100名以上の場合には最大約25%の割引となります。

【割引率10%の場合の検定料】

- ベーシック〈基礎〉コース 4400円→4000円
- スタンダード〈中級〉コース 6600円→6000円
- アドバンスト〈上級〉コース 9900円→9000円
- ベーシック・スタンダードセット 8800円→8000円
- スタンダード・アドバンストセット 13200円
→11900円

【割引率20%の場合の検定料】

- ベーシック〈基礎〉コース 4400円→3600円
- スタンダード〈中級〉コース 6600円→5300円
- アドバンスト〈上級〉コース 9900円→8000円
- ベーシック・スタンダードセット 8800円→7100円
- スタンダード・アドバンストセット 13200円
→10600円

◆さらに総数100名以上の場合の割引(15%)

- ベーシック〈基礎〉コース 4400円→3800円
- スタンダード〈中級〉コース 6600円→5700円
- アドバンスト〈上級〉コース 9900円→8500円
- ベーシック・スタンダードセット 8800円→7500円
- スタンダード・アドバンストセット 13200円
→11300円

◆さらに総数100名以上の場合の割引(25%)

- ベーシック〈基礎〉コース 4400円→3300円
- スタンダード〈中級〉コース 6600円→5000円
- アドバンスト〈上級〉コース 9900円→7500円
- ベーシック・スタンダードセット 8800円→6600円
- スタンダード・アドバンストセット 13200円
→ 9900円

※100円単位で切り上げさせていただきます。

※ご不明点等ありましたら事務局までお問い合わせください。

«お問い合わせ先»

法学検定試験委員会事務局

Email:houken_since2000@jimu-kyoku.net

団体成績分析資料

団体受験をしていただきますと、団体ごとの成績のデータをお渡しいたします。
貴学の学生と全国平均との比較が可能となります。
学生の到達度の確認等のデータとしてご活用ください。

【お送りするデータ】
解答状況表（受験者の解答状況や得点、合否のわかる一覧）、解答分析表（2種類）、得点度数分布、
全体成績解答分析表

※出願時に受験者の承諾のサインが必要となります

解答状況表

解答状況表は、受験生1人ひとりの正誤と得点、合否が一覧としてわかります。
エクセルデータでお渡しいたしますので自由に加工してご利用ください。

見本

【解答状況表】

受験番号 氏名	科目名	解答正誤	得点	合計点	合・否
団体コード：901		ベーシック<基礎>コース			
901B-0001	法学入門	〇〇×〇〇〇〇××〇	7	35	合格
	憲法	××〇〇×〇×〇〇〇××〇×〇	8		
法検 花子	民法	〇×××〇××〇〇〇〇×〇〇×××〇 〇×	10		
	刑法	〇〇〇〇〇×〇××〇×〇×〇〇	10		
901B-0002	法学入門	〇〇×〇×〇〇×〇×	6	21	不合格
	憲法	×××××〇〇××〇×××〇×	4		
法検 太郎	民法	〇〇××〇××××〇×××〇×××× 〇×	6		
	刑法	×〇×××〇〇×〇×××〇××	5		
901B-0003	法学入門	×〇×〇××〇〇〇×	5	32	合格
	憲法	〇××〇×〇〇××××××〇〇	6		
法検 ひかり	民法	〇×××××〇×〇〇〇××〇×〇〇〇 〇×	10		
	刑法	〇〇〇××〇×〇〇〇〇〇〇×〇	11		
901B-0004	法学入門	×〇××〇〇〇×〇×	5	24	不合格
	憲法	〇××××〇××〇×〇×〇××	5		
法検 のぞみ	民法	××〇×〇×××〇××〇×〇〇〇×〇 ××	9		
	刑法	××〇××〇×〇××〇×××〇	5		
901B-0005	法学入門	×〇×〇××××〇〇	4	24	不合格
	憲法	〇××〇×〇×〇〇〇×〇〇〇〇	10		

解答分析表

解答分析表は、1問ごとに、どの選択肢を何人（何%）が選択をしているか、問題ごとの正答率、誤答率がわかります。また、どの得点クラス（成績の上位から下位）の受験生がどの選択肢を選んでいるかがわかります。

解答分析表① 問題ごとの選択割合と正答、誤答

解答分析表② 得点クラス*ごとの選択割合

*得点クラスとは、全体の成績に応じて5分割して上位からQ 1～Q 5に分けた分析です。

【解答分析表①】

〇〇年 法学検定試験 ベーシック<基礎>コース 解答分析表①

団体	コース	科目名	総数	問題 番号	正答	選択肢（1）		選択肢（2）		選択肢（3）		選択肢（4）		選択肢（5）		重答		無答		正答 率	誤答 率		
						人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率			人数	比率
901	B	法学入門	120	1	2	5	4.2	84	70	10	8.3	21	17.5	0	0	0	0	0	0	70	30		
901	B	法学入門	120	2	2	0	0	96	80	8	6.7	16	13.3	0	0	0	0	0	0	80	20		
901	B	法学入門	120	3	4	6	5	13	10.8	18	15	83	69.2	0	0	0	0	0	0	69.2	30.8		
901	B	法学入門	120	4	3	23	19.2	21	17.5	56	46.7	20	16.7	0	0	0	0	0	0	46.7	53.3		
901	B	法学入門	120	5	2	4	3.3	76	63.3	27	22.5	13	10.8	0	0	0	0	0	0	63.3	36.7		
901	B	法学入門	120	6	3	2	1.7	15	12.5	99	82.5	4	3.3	0	0	0	0	0	0	82.5	17.5		
901	B	法学入門	120	7	4	6	5	6	5	12	10	96	80	0	0	0	0	0	0	80	20		
901	B	法学入門	120	8	3	76	63.3	16	13.3	23	19.2	5	4.2	0	0	0	0	0	0	19.2	80.8		
901	B	法学入門	120	9	4	8	6.7	5	4.2	9	7.5	98	81.7	0	0	0	0	0	0	81.7	18.3		
901	B	法学入門	120	10	1	30	25	23	19.2	11	9.2	56	46.7	0	0	0	0	0	0	25	75		

【解答分析表②】

〇〇年 法学検定試験 ベーシック<基礎>コース 解答分析表②

団体	コース	科目名	総数	問題 番号	正答	正答率	得点 クラス	選択肢（1）		選択肢（2）		選択肢（3）		選択肢（4）		選択肢（5）		重答		無答			
								人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	Q 1	0	0.0	24	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	Q 2	1	4.2	21	87.5	1	4.2	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	Q 3	0	0.0	16	66.7	6	25.0	2	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	Q 4	2	8.3	12	50.0	5	20.8	5	20.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	Q 5	1	4.2	3	12.5	15	62.5	5	20.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	1	2	63.3	合計	4	3.3	76	63.3	27	22.5	13	10.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	Q 1	0	0.0	0	0.0	24	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	Q 2	0	0.0	1	4.2	23	95.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	Q 3	0	0.0	4	16.7	20	83.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	Q 4	0	0.0	5	20.8	19	79.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	Q 5	2	8.3	5	20.8	13	54.2	4	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
901	B	法学入門	120	2	3	82.5	合計	2	1.7	15	12.5	99	82.5	4	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0		

団体受験の活用方法の例

団体受験校は、法検の受験をさまざまなことに利用しています
キーワードは「客観的基準に基づく教育効果の可視化」です

活用例の一部をご紹介しますので、ぜひご検討ください



① 受験料補助・報奨金制度

出願に際して受験料の一部または全部を補助する制度

各コースの半額補助, 一律2000円補助

各コース自己負担1500円~2000円で受験できるように補助

在学中1回に限り補助

アドバンスコースにチャレンジする場合に限り5000円補助 etc.

合格等を条件に報奨金を与える制度

各コースごとに合格報奨金を授与

アドバンスコースに合格をした場合報奨金を授与

通常の合格ではなくエクセレント合格の場合報奨金を授与

報奨金と併せて, 学年末あるいは卒業時に学部長表彰 etc.

② 正規科目の教材および到達目標として

導入科目のテキスト等としてベーシック問題集を活用

法学入門等のテキストとして活用し, 受験・合格を目標とする

サブテキストとして個々に活用を促し, 受験・合格を目標とする etc.

さらに進んで, 法学検定試験の合格を目指した講座を設置

「法学基礎演習」(合格しなくても単位が取れるような仕組みも可能) etc.

③ 合格等を基準に単位認定

合格等を基準に単位認定

ベーシック2単位, スタンダード2単位, アドバンス4単位 etc.

成績を基準に単位認定 (成績判定)

ベーシック(合格=優, エクセレント合格=秀) etc.

学年とコースを組み合わせて単位認定 (成績判定)

ベーシック(1年次合格=秀, 2年次合格=優)

スタンダード(2年次まで合格=秀, 3年次合格=優)

アドバンス(学年を問わず合格=秀) etc.

④ 卒業までの到達目標 (卒業判定の基準として)

合格を一種の卒業要件とし, 卒業試験にも活用

卒業試験制度を設け, スタンダードの合格をもって卒業試験を免除

同時にスタンダードの問題集より卒業試験の問題を出題する

=卒業生が最低限スタンダード合格レベルに達しているとの質保証

⑤ 課外講座として生協やエクステンションセンター主催講座の設置

正規講座ではなく, 外部に委託して法学検定試験対策講座を開講

委託元は, 生協やエクステンションセンター etc.

委託先は, LECやTAC, 大原学園 etc.

⑥ 編入試験の受験要件

ベーシック合格を編入試験出願の要件

法学部の3年次生として受け入れられる基礎力が備わっていることの確認として

2026年「法学検定試験」団体申込の詳細

団体申込資格：大学や企業等、法学検定試験委員会が認めた団体です。

団体申込条件：原則として受験者数20名以上とします。

申込責任者：あらかじめ申込責任者を決めていただきます。

1. 仮申込み

10月5日(月)までに法学検定試験公式ウェブサイトの「団体受験申込フォーム」(9月までに設置予定)から必要事項を入力・送信してください。

この仮申込みが期日までに送信されない場合は団体受験をお受けできない場合がありますのでご注意ください。

2. 受験申込み(本申込み)

本申込みは、法学検定試験委員会事務局に10月19日(月)必着で、書留、レターパック、宅配便など追跡のできる方法での送付をお願いいたします。

～本申込み時に必要な書類～

〈1〉団体受験申込書(仮申込後に発行する個別リンクのフォームに必要事項を追加入力いただき、その入力内容のコピーをプリントアウトしてください)

〈2〉団体会場実施誓約書

〈3〉受験者全員の願書 *1

〈4〉受験者全員分の受験料振込の証明書類

(取扱書店等発行の「書店払込証書」または金融機関交付の「振込明細」) *2

〈5〉試験会場地図および試験室レイアウト

*1 団体申込予定の方が個人申込みで出願された場合、団体への合流は認められませんので、ご注意ください。

*2 出願時までに間に合わない場合でも、遅くとも試験日前の金曜日まで支払明細書類をお送りください。

なお、「〈3〉受験者全員の願書」の中に、学外や社外の受験者が含まれ、それらの受験者を団体の成績結果に入れないことを希望する場合は、該当の受験者の「願書」の「⑧団体名」欄に団体名に続いて「☒」と赤で記入してください。

3. 団体試験会場

試験会場は各団体様でご用意いただきます。

団体受験申込書「(4) 試験実施会場」に試験を実施する会場を記入してください。これは、受験票に記載し、受験者に当日の試験会場として案内されます。また、試験室はコース別でご用意ください。午前中に実施するベーシックコースとアドバンスコースを同室で実施することはできませんのでご注意ください。

会場は、厳正・公平な試験を実施していただけることを前提とし、試験会場までの最寄駅からの地図、試験会場のフロア図、試験室の配席図をご提出いただきます。

試験座席配置については、受験者同士の間が1席以上あれば1つの机に何名掛けかは問いません。

4. 受験票の送付

受験票は11月12日(木)頃に受験者個人宛に一斉発送いたします。

5. 検定試験監督・ 運営体制

厳正・公正な試験実施体制確保のため、「誓約書」を提出いただくとともに、「団体会場実施規定」および「団体会場実施マニュアル」に従っていただきます。

目安としては、団体試験責任者1名、各試験室に試験監督1名のほか、受験者60名につき1名の監督補助者を必要としますが、団体のご事情によっては多少の緩和が可能なケースもありますので、詳しくは事務局までご相談ください。

検定試験実施の日時・実施方法等は、公開会場と同一の条件で行っていただきます。厳正・公正なる試験実施を担保するため、試験当日、試験委員会から「試験監理者」を派遣することがあります。

6. 合否通知・試験結果

合否通知・試験結果は受験者個別に送付いたしますが、ご希望により、受験者全員の「団体成績表」等を団体申込責任者に、セキュリティレベルの高いメールにてお送りしています(団体申込責任者以外にお送りする場合には、その旨ご指定ください)。通知を希望される場合は、団体受験者の成績結果(合否および各科目の個人成績データ等を含む)が申込責任者に通知されることを受験者本人に十分説明のうえ、願書受付時に、「願書」の「⑧団体名」欄下の個人成績の通知承諾署名欄に必ず本人にご署名いただってください。署名がない方の成績は通知できませんので、お気をつけください。

7. 受験料のお支払方法

受験料はつぎの(a)か(b)のいずれかの方法で、受験者全員分をまとめてお支払ください。

(a) 取扱書店等の利用…取扱書店等に受験料を支払い、書店発行の「④書店払込証書(団体申込用欄使用)」をお送りください。

(b) 銀行口座への振込…払込金融機関から交付される振込明細書をお送りください(振込の際は必ず団体名を明記してください)。

※銀行口座への振込日の都合で振込書類を願書と同時に送りいただけない場合は申込書(6)に振込予定日を明記してください(**遅くとも試験日前の金曜日までのお振込と支払明細書類の送付をお願いします**)。

※特にご事情のない限り、割引額を差し引いた額(8.参照)でのお振込をお願いしております。

振込先口座

みずほ銀行 銀座支店 (普通) 2275905

(口座名) 法学検定試験委員会事務局

ゆうちょ銀行 <ゆうちょ銀行から>00180-3-567530

<他行から>〇一九支店 (当座) 0567530

(口座名) 法学検定試験委員会事務局

8. 受験料の割引

※割引後受験料は100円単位の切上げとなります。具体的な金額は別紙「団体受験特典」を必ずご確認ください

① 会場の設置および当日の試験実施・運営を行っていただく場合、会場費、試験監督および事務連絡費等の費用の一部にあてていただく等のために検定料総額の約10%を割引させていただきます。

② 団体内で取扱書店等を利用されず、願書の受付および検定料の一括送金事務を行っていただく場合 (送金方法は銀行振込)、その手数料分等の意味で検定料総額の約10%を割引させていただきます。

上記①と②により、検定料から最大約20%の割引となります。

なお、銀行振込でお支払いただく場合は、あらかじめ割引額を差し引いてのお振込をお願いいたします。

定価の受験料を一旦お支払いいただいた上での割引分の返金が必要な場合は、団体受験申込書の返金振込金融機関名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義人を記入してください。

※返金先が昨年と同じ口座でも口座記載欄にはご記入をお願いいたします)

*大口団体様の特例

受験申込者が延べ100名以上の大口団体様には、特別割引制度を設けております。団体割引後の受験料から、さらに約5%の割引を行います。

《お問い合わせ先》

法学検定試験委員会事務局

Email:houken_since2000@jimu-kyoku.net

ご不明な点がございましたらお問い合わせください

団体会場実施規定

本規定は法学検定試験の団体会場実施について定めたものです。

団体会場の申込責任者は試験当日の責任者として、本規定に従い、厳正・公平に試験を実施してください。

本規定に違反して実施した場合に生ずる一切の責任は、申込責任者に負っていただきます。

【試験の実施】

1. 試験実施日時の厳守

所定の実施日時を厳守してください。いかなる理由でも所定の日時以外での試験実施はできません。

所定の実施日時以外に実施した場合は、当該受験者は全員失格とし、答案の採点はいたしません。受験料の返却もいたしません。

2. 試験時間の厳守

所定の試験時間を厳守してください。いかなる理由でも所定の試験時間の延長・短縮等はできません。

3. 適切な試験会場

厳正・公平な試験を実施するうえで、適切な会場（教室）を使用してください。

申込時に、使用する会場（教室）名および試験用収容人数ならびに机の配置図等をご提出いただきます。

4. 厳正・公平な試験監督

試験監督にあたっては、本規定および別途送付する当年度の「団体会場実施マニュアル」に従い、厳正・公平に行ってください。

運営にあたって、試験の前後を含め試験実施本部と連絡が取れる状態にある団体試験責任者1名のほか、人数の目安としては、各試験室に試験監督1名、および受験者60名につき1名の監督補助者を必要とします。

試験教室の監督を含め試験業務を補助員が担当する場合は、補助員に本規定および「団体会場実施マニュアル」の記載事項を事前に説明し徹底してください。

試験実施にあたっては、受験生からの試験問題に関する質問は一切受け付けないでください。

【試験資材・解答用紙の取扱い】

5. 試験資材の取扱い

- (1) 到着した試験資材は、送付品目と部数（枚数）の点検を行ってください（必ず複数人で行ってください）。ただし、問題冊子は試験当日に別便でお届けいたします。
- (2) 送付品目・部数（枚数）の点検後の試験資材は再梱包し、厳重に保管してください。
- (3) 試験資材には各コースの志願者数に応じた「解答用紙」と、印刷不鮮明や破損・汚損に備えて、若干の予備が加わります。

6. 受験指導の禁止

試験準備のための特別指導等は自由ですが、試験資材到着後の指導や模擬テスト等を行わないでください。

7. 試験後の解答用紙の返送

- (1) 試験終了後は、解答用紙枚数と必要事項のマーク漏れがないかの確認のみ行い、解答内容には一切手を加えないでください。
- (2) 解答用紙は、原則として当日の試験終了後に、差し支えがある場合には翌月曜日の午前中に指定運送業者が引き取りに伺います。

以 上

法学検定試験 団体申込方法について

今年度より、団体申込みが電子フォームでの申請に変わります。

初回ご入力時は、法学検定試験公式ウェブサイト内の団体申込用のリンク(9月1日までに設置予定)からフォームに入力をお願いいたします。

- ・ご登録いただくと、ご入力内容のコピーがメールで届きます。
- ・願書等の出願書類一式を郵送いただく際には、ご入力内容のコピーをプリントアウトしたものを「団体受験申込書」として同封くださいますようお願いいたします。
- ・ご登録完了後、団体ごとの個別リンクをご案内いたします。記載事項に変更が生じた場合は、個別リンク先で情報の随時修正が可能になります。

↓ 団体申込の詳細はこちらからご確認ください ↓

法学検定試験公式ウェブサイト <https://www.shojihomu.or.jp/hougaku/index>

「団体・グループ申込(責任者向け)」をクリック



ご不明な点は、法学検定試験委員会事務局までお問い合わせください。

E-mail:houken_since2000@jimu-kyoku.net

重 要

§ 誓約書の提出について §

- ① 下記の誓約書は団体会場受験申込の場合、必ず「団体受験申込書」と一緒に法学検定試験委員会にお送りください。
- ②実施連帯責任者は申込責任者とは別の方をお願いします（実施連帯責任者は必ずしも試験実施を担当する必要はありません）。

§ 団体会場実施規定（抜粋） §

下記①から⑦は、「団体会場実施規定」から抜粋要約したものです。なお、この規定に違反して実施した場合は、受験者全員の答案を無効とし、受験料は返却いたしません。

- ① 試験実施日時の厳守 : 実施日時の変更はできない。
- ② 試験時間の厳守 : コース別に試験時間が異なるので注意。
- ③ 適切な試験会場 : 試験を実施するうえで適切な会場を使用する。
- ④ 厳正・公平な試験監督 : 試験監督は厳格に行う。
- ⑤ 試験資材の取扱い : 試験資材は到着後、すみやかに点検し、試験当日まで厳重に保管する。
- ⑥ 受験指導の禁止 : 試験資材到着後の受験指導は禁止する。
- ⑦ 試験後の解答用紙の返送 : 試験終了後は、枚数や必要事項記載の確認のみを行い、解答内容に手を加えてはいけない。解答用紙は、原則として当日試験終了後に指定運送業者に引き渡す。

団体会場実施誓約書

法学検定試験委員会 殿

今回の法学検定・団体会場受験申込みにあたり、団体会場実施規定を厳守し、厳正・公正に試験を実施することを誓約します。

なお、規定に反して実施した場合に生ずる一切の責任は、申込責任者および実施連帯責任者が負うことに異存ありません。

2026年 月 日

試験の実施日 2026年11月29日

申込団体名 : _____

〒
所在地 : _____ 電話 _____

申込責任者 : _____ 印（所属 _____）

実施連帯責任者 : _____ 印（所属 _____）

年 月 日

法学検定試験委員会事務局 宛

団体受験申込書類 送付状

以下のとおり、団体受験申込みに関する書類を送付します。

必要書類	<input checked="" type="checkbox"/>	備考
・2026年法学検定試験 団体受験申込書		必須 (仮申込後に発行する個別リンクより貴学専用フォームに追加入力後、入力内容のコピーをプリントアウトしてご提出ください)
・願書		受験者全員分*
・団体会場実施誓約書		団体会場設置校のみ
・キャンパス内地図および 使用教室のレイアウト図		団体会場設置校のみ
・受験料の支払明細書類※ (未振込の場合：振込予定日 月 日)		※遅くとも試験日前までの着金が必須
・団体受験申込書類 送付状		本紙

* (願書の記載内容確認注意事項)

受験者の成績の提出を要する場合には、願書に受験者の署名があることを確認 (署名のない受験者の成績は提供できません)

団体受験に○印、団体名・グループ名の記載を確認。自校実施の場合は②受験地の記入は不要です

すべての受験者の願書に不備がないかを確認 (住所 [建物名・部屋番号まで]・電話番号やメールアドレス等無し、生年月日不備等に特にご注意ください)

申込団体名 _____

〒 _____

住 所 _____

ご担当者名 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

2026年 月 日

法学検定試験委員会事務局 行

MAIL: houken_since2000@jimu-kyoku.net

「試験に関する説明等依頼書」

以下のとおり、試験制度に関する説明等を依頼します。

対象		○・×	ご希望 時期	曜日と時間帯 の候補
法検ご担当 の先生	電話・オンラインによる説明希望			
	直接説明に来てほしい			
学生	学生向けのガイダンス希望 (対面式/オンライン)			

*時期は、なるべくご希望に沿うよう調整させていただきます。

申込団体名 _____

〒 _____

住 所 _____

ご担当者名 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

受験者必携！

書店・生協にて発売中！

法学検定試験公式問題集・過去問集

ベーシック・スタンダードコースには**公式問題集**があります

⇒問題集をしっかりと学習していれば解ける問題が全体の**6～7割**出題されます！

ベーシック<基礎>コース
 レベル⇒法学部2年次程度
 主な受験者：法学部1年次生～2年次生

受験科目		試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

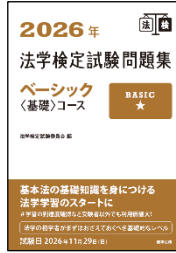
【4科目・合計60問】
 科目＝法学入門10問/民法20問/その他各15問

合格率は例年、約60%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の入門書】

『2025年法学検定試験問題集 ベーシック<基礎>コース』

定価 2,420円 (税込)



授業前後の予習復習ツールとして
問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！
*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード<中級>コース
 レベル⇒標準的な法学部3年次程度
 主な受験者：法学部2年次生～3年次生

受験科目		試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合*から1科目	

【5科目・合計75問】
 科目＝法学一般10問/民法20問/その他各15問

[選択科目A]
 ①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
 必須4科目に加え1科目選択の5科目です

合格率は例年、約55%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の教科書】

『2025年法学検定試験問題集スタンダード<中級>コース』

定価 4,290円 (税込)



・公務員試験などの受験を考える人の土台固めに
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全8科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から6～7割が出題される他、やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も出題されます

アドバンスト<上級>コース
 レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度
 主な受験者：法律資格を目指す法学部生
 法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

受験科目		試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6科目・合計55問】
 受験科目＝法学基礎論10問中5問選択/その他各10問

[選択科目A]
 ①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
 [選択科目B]
 ⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

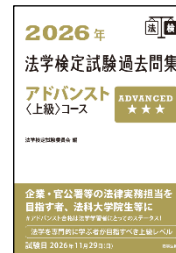
*選択科目Aから少なくとも1科目選んでください
 必須4科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約20%の難関コース!!

【学習教材：公式過去問集+各科目の基本書+各種判例集】

『2025年法学検定試験過去問集アドバンスト<上級>コース』

定価 3,850円 (税込)



・より上位の法律資格や公務員試験を目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去3年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

**過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください**